



小田原城跡の
発掘調査成果速報！

小田原城跡八幡山 遺構群(第4次調査) (小田原市城山)

小田原城の堀を発見！

小田原城跡八幡山遺構群の発掘調査

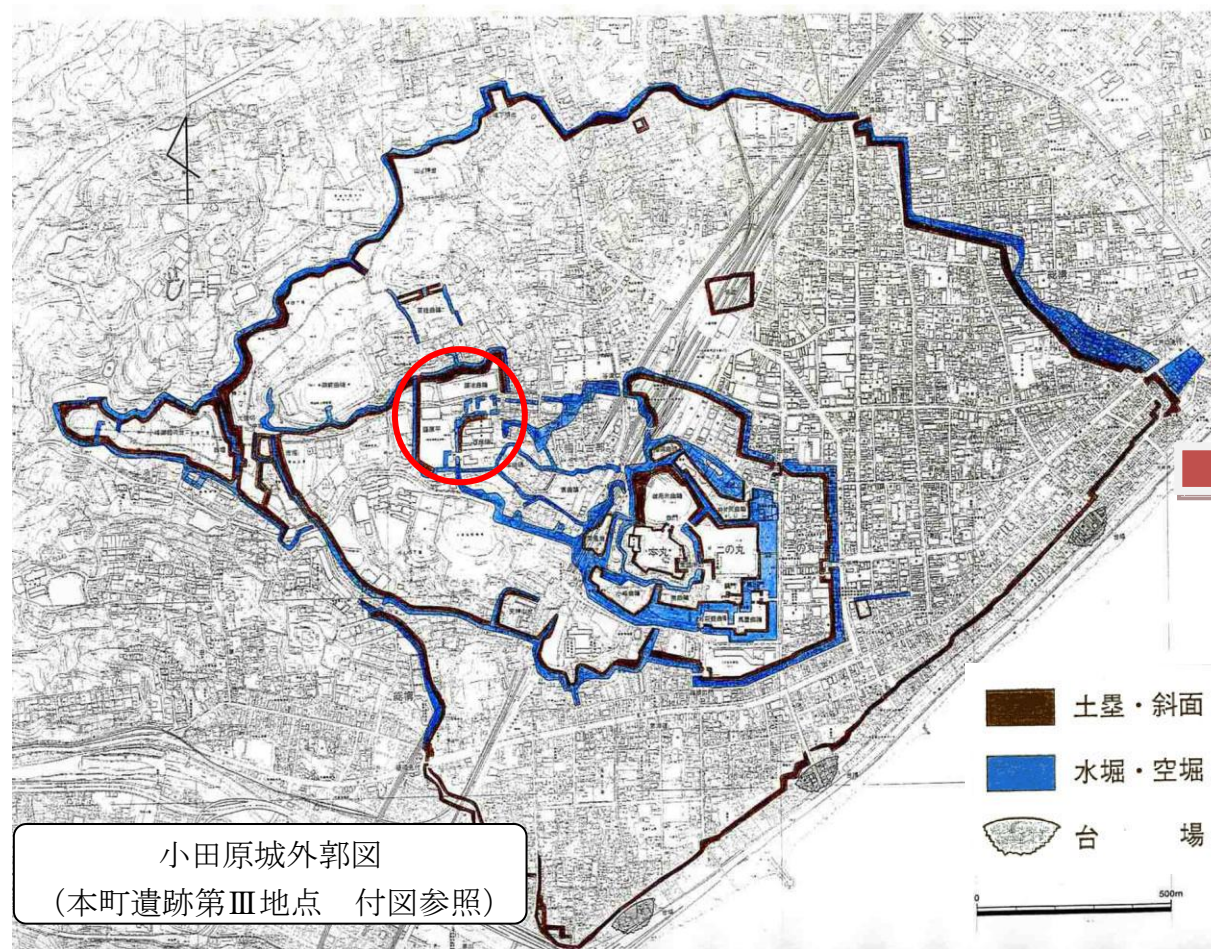
小田原市城山に所在する小田原城跡八幡山遺構群では、神奈川県教育局教育財務課の委託を受け、県立小田原高等学校整備工事に伴う埋蔵文化財の確認調査を実施しています。

調査区は、県立小田原高等学校旧校舎跡地で、小田原城の中でも「八幡山古郭」と言われる八幡山丘陵の縁辺部にあたり、江戸期の伝承地名「西曲輪」に相当します。

今回の調査によって西曲輪西堀、三味線堀、本曲輪北堀が発見されました。特に西曲輪西堀はごく一部についてのみ存在が確認されていましたが、非常に大きな堀であることが分かりました。また、中世まで遡る遺物も見つかっています。

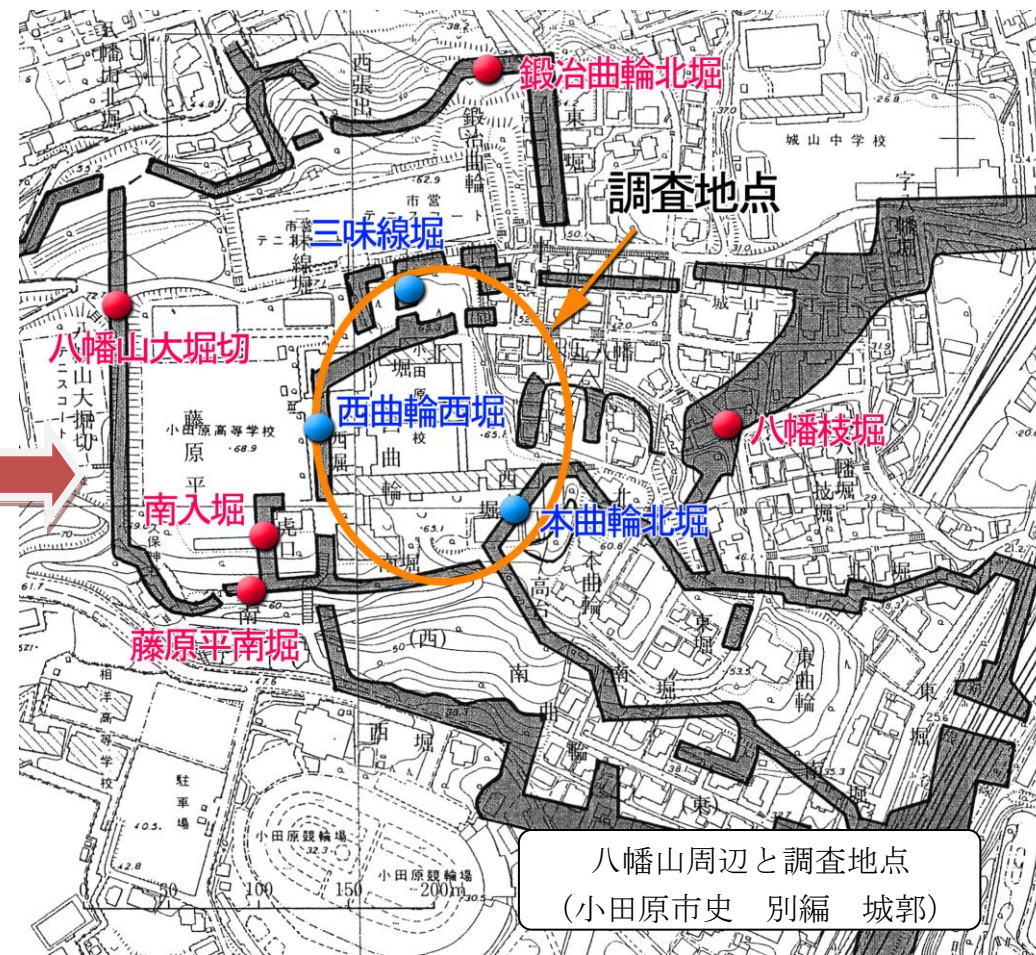
今回発見された遺構や遺物などは、今後の出土品整理や分析などを経て発掘調査報告書として刊行し、正式に公開されます。

これら先人達の足跡を、郷土小田原の歴史を探る資料として、活用して頂ければ幸いです。



小田原城外郭図
(本町遺跡第Ⅲ地点 付図参照)

土塁・斜面
水堀・空堀
台場



八幡山周辺と調査地点
(小田原市史 別編 城郭)

今回の調査ではこれまで絵図面等で位置が想定されていた中世小田原城の西曲輪西堀、三味線堀、本曲輪北堀が実際に発見されました。特に西曲輪西堀については障子堀で、障子が「T」の字になる形で見つかりました。また、この堀は近代になるまで埋まり切らず、高校建設時には庭園の池として利用されていたことも明らかになりました。

周辺には、八幡枝堀や鍛冶曲輪北堀、南入堀といった中世小田原城の堀が見つかった遺跡が存在します。

今回の調査成果は、八幡山古郭における小田原城の城郭構造について周囲の遺跡とともに分析する必要があります。



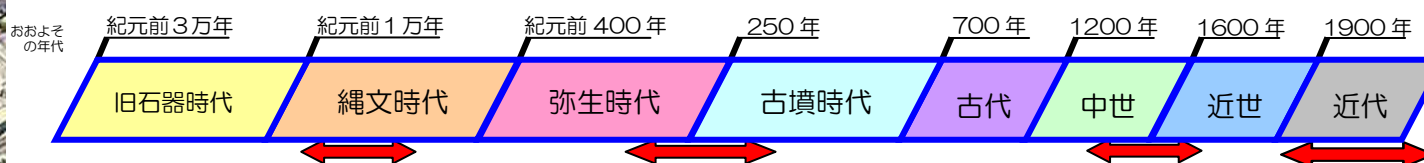
西曲輪西堀作業状況



包含層遺物出土状況



西曲輪西堀陶磁器出土状況



※矢印は、今回の調査で発見された遺構や遺物のおおよその時期を示しています。

測量・記録作業



遺構等は土層観察帯を設定し、地層の堆積状況を記録します。

遺構の形や遺物出土地点の測量を行いながら調査を進めます。



小田原城跡の発掘調査成果速報
小田原市 小田原城跡八幡山遺構群
2008.10.11
財団法人 かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市中区中村町 3-191-1
Tel. 045-252-8689